

第1問 (20点)

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現金	当座預金	普通預金	受取手形	売掛金
クレジット売掛金	電子記録債権	未収入金	受取商品券	前払金
仮払消費税	仮払法人税等	備品	車両運搬具	減価償却累計額
支払手形	買掛金	電子記録債務	前受金	未払金
仮受消費税	未払消費税	未払法人税等	資本金	利益準備金
繰越利益剰余金	売上	受取手数料	仕入	給料
支払家賃	支払手数料	水道光熱費	通信費	租税公課
発送費	雑費	法人税等	損益	現金過不足

- 営業用の自動車を購入し、車両本体価格¥1,200,000、付属品¥120,000、納車費用¥30,000、その他取得価額に含める付随費用¥60,000の合計額のうち3分の1につき小切手を振り出して支払い、残額は翌月末に支払うこととした。
- 店舗における本日分の売上高は¥5,753,000(税込金額)であった。このうち¥480,000は共通商品券を受領し、残額はクレジット払いとして扱われた。併せて、当社負担の商品発送費用¥66,000(税込金額)について、翌月5日に運送会社の普通預金口座に振り込む契約となっているため、未払金として計上する。なお、消費税(10%)は税抜方式によって処理すること。また、信販会社に対する手数料(税込金額の3.6%)は、販売時に費用計上する方法を採用している(クレジット手数料に対して消費税は課されない)。
- かねて納税通知書(第1期分から第4期分まで、それぞれ¥120,000ずつとなっている)の送付を受けた際に未払計上していた固定資産税のうち、第1期分を現金によって納付した。
- 築波商事株式会社に対する売掛金¥340,000および買掛金¥490,000につき、先方の承諾を得て両者を相殺処理するとともに、買掛金の超過分を支払うために同社宛での約束手形を振り出した。
- 決算整理後における収益および費用の各勘定残高は次のとおりである。必要な決算振替の処理を行う。①損益振替仕訳と②資本振替仕訳に分けて解答すること。

売上勘定：¥580,000

仕入勘定：¥330,000

租税公課勘定：¥12,000

第2問 (10点)

当社の借入金に関する次の【資料】にもとづいて、X3年度（X3年4月1日からX4年3月31日）における支払利息勘定および未払利息勘定の①～⑩に当てはまる適切な語句または金額を答えなさい。

【資料】

1. 借入金の内訳

	借入金額	借入日	返済予定日	年利率	利払日など
証書借入①	¥5,000,000	X2年11月1日	X3年10月31日	2.4%	4月末と10月末
手形借入	¥1,000,000	X3年10月1日	X3年12月31日	2.6%	借入時に利息分を上乗せした金額による約束手形を振り出した。
証書借入②	¥6,000,000	X3年11月1日	X4年10月31日	2.8%	4月末と10月末

- 借入れまたは返済、利払いによる入出金は、普通預金口座を通じて行われる。
- 当期中に返済予定日が到来した分については、予定どおり返済が行われた。
- 利息は月割りで計算すること。

支 払 利 息

4/30	普通預金	(①)	4/1	(④)	()
10/1	手形借入金	(②)	3/31	(⑤)	(⑥)
10/31	(③)	()			
3/31	()	()			
		()			()

未 払 利 息

4/1	()	(⑦)	4/1	(⑧)	()
3/31	()	()	3/31	(⑨)	(⑩)
		()			()
			4/1	()	()